

令和4年度 第1回田原市総合計画審議会：会議録

日 時	令和4年12月22日(木) 13時30分～15時15分
場 所	田原市役所 第1委員会室(北庁舎3階)
出席者	<p>委員(敬称略、順不同)</p> <p>高崎 佐智江 田原市教育委員会 委員 山本 貢司 田原市農業委員会 会長 鈴木 照彦 愛知みなみ農業協同組合 代表理事組合長 河合 利則 田原市商工会 会長 森下 直樹 渥美商工会 会長 川口 正康 愛知県漁業協同組合連合会東三河支部 支部長 山田 俊郎 田原臨海企業懇話会 会長 小林 篤史 田原市消防団 団長 小久保 武彦 田原市土地改良区 理事長 山田 貴三 田原市社会福祉協議会 会長 光部 泰弘 田原市老人クラブ連合会 会長 中川 鈴江 田原市更生保護女性会 会長 鈴木 嘉希津 一般社団法人田原青年会議所 副理事長 石黒 功 渥美半島観光ビューロー 会長 稲垣 瑞恵 愛知県農村生活アドバイザー協会田原支部 会長 渡会 美加子 NPO法人たはら国際交流協会 理事 杉浦 操 田原市赤十字奉仕団 委員長 山本 充朗 田原金融協会 会長 鈴木 桃子 田原市小中学校PTA連絡協議会 女性部長 戸田 敏行 愛知大学地域政策学部 教授</p>
欠席者	<p>藤井 正剛 田原市地域コミュニティ連合会 会長 吉田 昌弘 愛知厚生連渥美病院 病院長 太田 文子 田原市民生児童委員協議会 副会長 浅野 純一郎 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 教授</p>
傍聴者	なし
事務局	<p>企画部 部長 企画部 次長 企画課 3名 策定支援委託業者</p>

議 題	1 市長挨拶 2 議題 (1) 会長の互選について (2) 会長職務代理者の指定について (3) 顧問の委嘱について (4) 第2次田原市総合計画の策定及び現行計画の確認について (5) 策定体制とスケジュールについて (6) 田原市の現況について 3 田原市総合計画策定に係る意見交換 4 その他
配布資料	会議次第 資料1 田原市総合計画審議会委員名簿 資料2 田原市総合計画審議会条例・運営規程 資料3 田原市総合計画審議会顧問名簿 資料4 第2次田原市総合計画の策定について 資料5 策定体制とスケジュール 資料6 田原市の現況（令和4年度版）【未定稿】 改定版 第1次田原市総合計画（概要版）

1 市長挨拶

山下市長	寒い中、第1回の総合計画審議会にご出席いただき感謝申し上げます。 コロナも落ち着いていないが、こういった社会の現象がこの総合計画審議会の中身に影響してくるのではないかと考えている。 改定版の第1次田原市総合計画が平成25年に策定された。総合計画は10年先を見通したまちづくりの指針となる。そして、今回は第2次総合計画の策定の時期にあたる。先ほど話した新型コロナウイルス感染症や世界紛争の影響もあり、まちそのものの情勢が変わってきている。まちのいろいろな問題を見通しながら、この先10年の田原市について皆さんでご検討いただきたいと思う。夢の持てる明るい田原市をつくるためにはどうすればよいかと私自身考えている。是非その点をご理解いただいて忌憚のないご意見をいただきたい。よろしくお願いを申し上げて私の挨拶とさせていただきます。
事務局 (部長)	(委員及び事務局紹介)

2 議題

- (1) 会長の互選について

事務局 (部長)	会長を選任していただきたいと思う。当審議会の会長については、田原市総合計画審議会条例第4条に「委員の互選によってこれを定める」と規定されている。また、当審議会運営規程第2条第1項には会長の互選の方法、第2項には指名推薦できる旨が規定されている。これまでも投票による互選ではなく指名推薦を行っているので、今回も同様の方法を取りたいと思う。ご異議はないか。
委員一同	(異議なし)
事務局 (部長)	ご異議なしということで、会長については指名推薦の方法で行う。委員の皆様から推薦はあるか。
河合委員	学識経験者の戸田委員にお願いしたいが、いかがか。
事務局 (部長)	ただ今、戸田委員にというお声があったが、いかがか。
委員一同	(異議なし)
事務局 (部長)	ご異議なしの声をいただいたので、当審議会の会長を戸田委員にお願いしたいと思う。よろしく願います。 それでは、これからの議事の取り回しは当審議会運営規程第6条により会長に願います。
戸田会長	会長にご指名いただいたので、よろしく願いたい。コロナ禍、人口減少、情勢変化等により厳しい面が非常に明確になってきた。そういう中であるが、市長からお話のあったように夢の持てる明るい田原市というところに向かって総合計画の審議を進めていければと思う。微力ではあるが頑張りたいと思うので、ご協力のほどよろしく願います。

(2) 会長職務代理者の指定について

戸田会長	会長職務代理者の指定を行う。当審議会条例の第4条第3項に「会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指定する委員が、その職務を代理する」とあるので、私から指名させていただく。本日ご欠席ではあるが、地域コミュニティ連合会 会長の藤井委員にお願いしたいと思う。よろしく願います。 委員の皆様にお諮りする。本審議会については公正で透明な会の運営を図って市民の皆さんの関心を促すということがあるので、原則公開としたいと思うが、ご賛同いただけるか。
委員一同	(異議なし)
戸田会長	ご異議なしということで、原則公開とさせていただく。

(3) 顧問の委嘱について

戸田会長	顧問の委嘱について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (部長)	顧問の委嘱については、当審議会条例第5条第1項において「審議会に顧問及び参与を置くことができる」とされており、同条第2項に「顧問及び参与は、市

	長が審議会に諮って委嘱する」とある。については、愛知県議会議員の山本 浩史様に顧問を委嘱することについて、お諮りする。
戸田会長	山本県議を顧問にということであるが、ご質問等あるか。
委員一同	(質問・意見なし)
戸田会長	特になければ事務局案どおり委嘱をお願いしたいと思う。よろしいか。
委員一同	(異議なし)
戸田会長	ご異議なしということで、委嘱に賛同とする。
事務局 (部長)	皆様方から顧問の委嘱についてお許しをいただいたので、ここから山本顧問に本審議会への出席をお願いしたいと思う。よろしく願います。 それでは、一言ご挨拶をいただければと思う。
山本顧問	誠心誠意努めたいと思う。よろしく願います。
事務局 (部長)	誠に恐縮であるが、山下市長は他の公務のため、これで退席とさせていただきます。ご了承のほどよろしく願います。 (市長退席)

(4) 第2次田原市総合計画の策定及び現行計画の確認について

戸田会長	第2次田原市総合計画の策定及び現行計画の確認について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (課長補佐)	(資料説明) 資料4
戸田会長	ただ今の説明について、ご質問等あるか。
委員一同	(質問・意見なし)
戸田会長	最後に総括的にご意見をいただくので、その際にご発言いただければと思う。

(5) 策定体制とスケジュールについて

戸田会長	策定体制とスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。
事務局 (課長補佐)	(資料説明) 資料5
戸田会長	ただ今の説明について、ご質問等あるか。
石黒委員	分野別計画も大事であるが、縦割りでは新しい発想が出てこないと思う。 若者WEBアンケートも実施するようだが、今年、田原在住の高校生が市外の高校に進学した割合が45%を超えており、来年はその割合が50%以上になるようだ。なぜ田原以外に行こうとしているのかということも聞いていただきたい。逆に、市外から田原市内の高校に通っている生徒も多くはないがいる。そういう生徒たちの意見も聞いていただきたいと思う。
戸田会長	分野別計画という縦割りになりがちかもしれない。横串をさすことが非常に重要だと思う。若者WEBアンケートの対象やねらいについて、今わかる範囲で説明いただきたい。

事務局 (部長)	分野別計画の件について。現行計画の35ページをご覧いただきたい。基本計画については施策ごとの計画に加え、横串をさす形で重点プロジェクトというものがある。市の課題に対応するため各施策が連携し、どういったところを目指すかということを示したもので、7つの重点プロジェクトを定めて分野横断的に取り組む。このような形で横串をさしながら進めていければと考えている。
事務局 (課長補佐)	若者WEBアンケート等の収集について説明する。基本的には市内の高校生・専門学校生全員にお願いしようと思っており、例えば豊橋から通っている場合でも対象となる。市外の高校に行っている生徒については、駅や商業施設等の人が集まる場所に設置予定の意見収集ボードで対応する。また、市民意識調査ということで市内の中学2年生全員にアンケートを行っているので、それも参考にしながら策定を進めていきたい。
戸田会長	横串の議論は重要なので重点プロジェクトに反映していただきたい。 高校生のアンケートについて。人口が減っていくのは非常に大きな問題で社会移動もある。細かく見ていかないとわからないところがあるので、意見ボード等で意見を集約していただきたいと思う。
鈴木(照)委員	計画の前提事項のところでは3点提案がある。新しい生活様式を踏まえたウィズコロナが大きな課題となっているので、そのウィズコロナが1点目。2点目は新たな考え方としてのSDGs。それと、食料の安全保障という新しい考え方が農業のところから出てくる。今後、中国やインドの人口が増えてきて食料を買いたくても買えない時代になるおそれがあるので、食料の安全保障が3点目。この3つの考え方を是非取り入れていただきたい。
戸田会長	今の3点、ウィズコロナ、SDGs、食料の安全保障はこれからの検討事項になってくるかと思うが、現段階でもし考えがあれば説明してもらいたい。
事務局 (課長補佐)	今おっしゃった観点は非常に重要なところだと認識している。その観点を取り入れながら計画を策定していきたいと思う。
戸田会長	是非とも留意していただきたい。

(6) 田原市の現況について

戸田会長	田原市の現況について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (主査)	(資料説明) 資料6
戸田会長	ただ今の説明について、ご質問等あるか。
山本顧問	23ページについて。平成から令和に元号が変わっているため、何年経過したかがわかりにくい。
事務局 (課長補佐)	確かにわかりづらい面があるので、西暦を下に入れてわかりやすくする。
戸田会長	その点も留意していただければと思う。

3 田原市総合計画に係る意見交換

戸田会長	ここからは一人ずつお話を伺う。それぞれのお立場から、なんでも言っていたきたい。
高崎委員	他市より嫁いで田原市に来た。田原の子は田原で。中高一貫校が豊橋市にある。心豊かなお子さんが育っていけばよいと思う。皆様のご指導をいただきつつ、これから務めさせていただく。よろしく願います。
山本(貢)委員	土地利用のデータについて。田原市の総面積 191.11 km ² のうち農地が 6,290ha、ここには載っていないが遊休農地が約 490ha で農地全体の 8%弱となっている。農業委員会で毎年意向調査をしているが、遊休農地がどんどん増えている状態。そこをなんとかしたいと私ども農業委員会で頑張っているが、なかなか手がなく困っている。さらには担い手の問題もある。今は 67 歳ぐらいが中心なので、次をどうするか皆さん悩んでおられる。こういう点をなんとかしていかないと田原市の将来はないと思っている。
鈴木(照)委員	田原市は全国有数の農業地帯で、2020 年までは農業産出額 1 位を誇っていた。今の 1 位は 865 億円の宮崎県都城市、田原市は 825 億円で 2 位という立ち位置である。田原市では黒潮と豊川用水の水を利用した巨大産地が出来上がっている。次世代にもそれをつなげていきたい。渥美半島の人たちが新しい農業へ挑戦する勇気を与えるような市の支援をお願いします。
河合委員	私ども商工会にとって一番大きいのが人口の減少である。全体的な減少もだが、中心市街地の人口減少が大きな課題で、渥美半島全体では田原の中心市街地、赤羽根、福江という 3 つの拠点の人口密度がかなり下がっている。人＝消費であるため、このことが商業にもダメージを与える。また、人口減少が予定よりも早いペースで進んでいるということだが、中心市街地の人口密度が下がると一般的な市民サービスができなくなってしまうので、そこに中心を置いた総合計画になってほしいと思う。
森下委員	この春に伊良湖を温泉地としてくれたことに感謝する。来春にはホテルのシーパーク&スパ、クリスタルポルトがオープンということで、大変うれしく思っている。渥美地区では伊良湖地区の観光の活性化が重要であるとともに、福江市街地の再開発が懸案事項だと捉えている。大変な事業だとは思いますが、今後商工会も全力で活動していくので、この 10 年計画の中でもう少し具体的な施策を打っていただければ有り難い。
川口委員	海のことについては多くの課題があり、自然環境にしても全国的な問題になっている。漁業に関しては次の担い手がない。結婚しない人が多いため、少子化になるのは当たり前だと思う。昔のようにたくさんの子供が遊んでいる風景がない。また、空き家も多くなってきているので、それを食い止める必要もある。海のことについては、またゆっくり話し合いたい。
山田(俊)委員	臨海部の埋立地に企業が 78 社ほど来て 1 万 5 千人の人が働いている。先ほど人口減少の話があったが、人口を増やすにはここに住み続けてもらうことが大事か

	<p>と思う。トヨタの場合、田原工場の約3千人が田原に住んでいる。先ほどの人口の減り方を見て驚いている。住んでもらうために田原の魅力を出す努力が必要であるし、今後アンケート等もしっかり取っていただいてそれを参考にすれば方向性も出てくるかと思う。</p>
小林委員	<p>消防団としてもここ数年団員の確保に困難を極めている。団員確保・維持が問題となっている。災害が激甚化する中、団員確保が最優先と考えている。今後も団員の保持と組織力強化に努めていきたい。</p>
小久保委員	<p>土地改良区は老朽化が進んでいる。その中で一番困っているのは部品がなかなか入ってこず、すぐに直せないこと。水が出ないと農業が発展しないので、対策を今考えている。なるべく水を止めないようにするので、よろしく願います。</p>
山田(貴)委員	<p>社会福祉協議会では法人運営、地域福祉活動、福祉サービスの利用支援、在宅福祉サービス、施設の指定管理等27の事業を行っている。それらを実施するためには人材の育成・確保がとても重要。地域の福祉を私どもが担っていくということで職員は本当に頑張ってくれているが、高齢化の課題もあるので、田原の子どもたちが将来的に地域の福祉を担う人材に育っていく部分を意識していただければと思う。今の社会情勢が福祉にも大きな影響を与えている現実があるので、皆様方のお知恵を借りながら夢や明るい田原という言葉で表せる総合計画を策定できればと考えている。</p>
光部委員	<p>田原市の老人クラブはこの10年ほどで数が半減している。その大きな要因は社会構造や時代の変化だと思う。昔はみんなで農作業をしていたが、今は勤める人も増えてきてお互いに顔がわからない状況になってきている。そのため、みんなで集まるといふ雰囲気もなく、老人クラブに入会できる年齢になっても入らない人も多い。また、役員になりたくない人もいる。私どもは“楽しくなければ老人会じゃない”ということできろいろな企画を立てている。年を取った方が楽しめる組織をしっかりとつくっていかねばならないと思っている。</p> <p>厚い資料が今日になって配布されたが、急に出されても読み切れない。事前に送っていただけると助かる。</p>
中川委員	<p>更生保護女性会は何をする所かとよく聞かれる。赤羽根学園がソフトボール、卓球等の県大会に出場する際に保護司会の方と一緒に応援に行くなどの下支えを行っている。また、刑務所から出てきてアパートに住めず実家にも帰れない方が豊橋の智光寮という施設に入っており、そういう方にお弁当や支援物資を届けるということをしている。私たちの会も次の担い手がなくて困っている。コロナで事業がなかなかできない中、事業の意味や意義を役員で話し合っているところである。</p> <p>私の家族の話をする、上は88歳のおばあちゃんから、下は1歳半の孫までの8人で暮らしている。息子が脱サラをして有機農業の農園を立ち上げ、家には一人も余裕がない。誰かがつぶれば我が家は立ち行かなくなる。ただ、これは我が家だけではなく田原市のどの家庭も同じではないかと思う。この田原でゆとり</p>

	ある幸せな生活を送れるよう、お互い支え合っていければと考えている。
鈴木(嘉)委員	青年会議所は明るく豊かな社会の実現を目指して 20 歳から 40 歳までの異業種で組織された 50 名程度のまちづくり団体である。田原市の現状を把握しながら、団体として何ができるかということをしっかり議論し実現していきたいと思う。本日は特別な意見はないが、次回以降は若者としての意見を伝えていきたいと思っているので、よろしく願います。
石黒委員	渥美半島観光ビューローは今年 4 月に法人化され、私は異業種だが会長を仰せつかった。第 1 次産業をどう観光に活かしていくかがポイントで、これからインバウンドの可能性も出てくると思う。また、サーフィンや太平洋岸自転車道でのサイクリング、従来のトライアスロン等のスポーツで世界から人を呼べるようなことも観光の役割かと考えている。この秋に市からの委託でふるさと納税の事業を始めたが、東三河はどこも出遅れている。観光の位置付けからも、ふるさと納税を強化していきたい。
稲垣委員	農村生活アドバイザー協会は、農業に携わっている女性と勉強するような組織である。今年度は女性の市議と介護について意見交換をする機会があった。その年によってテーマは違うが、意見交換をする中で農業について勉強している。よろしく願います。
渡会委員	たはら国際交流協会は設立して 32 年たつ。当初は外国人を田原に呼んで交流するという活動をしていたが、時がたつにつれて技能実習生や結婚して田原に住んでいる外国人の方々との交流に変わってきた。お互いの文化や習慣を理解して溝を埋めていくような活動を行っている。資料 4 にキーワードとして“国際化”と書いてあるが、わざわざこう書かなくても済むよう協会員の意見をまとめ、こちらで発表させていただければと思う。
杉浦委員	旧渥美町の清田校区に住んでいるが、休耕地や空き家が多い。その人は農業をやめて転出してしまったのかと考えると、先ほど河合委員がおっしゃったように人口減少をひしひしと感じる。この減少を食い止めるにはどうすればよいか、皆さん方のお知恵も出していきたいと思う。清田校区は福江に近く、福江の市街地をもっと活性化できるのではないかと考えており、そういったことにも目を向けていただければ有り難い。 赤十字奉仕団はいろいろな活動を行っているが、その一つに防災訓練があり、炊き出し訓練等を行っている。私たちのようなボランティア活動を行っている組織と行政との連携が大事だと思う。今後 30 年以内に大きな災害に見舞われる危険性が高いので、それに備え連携がきちんと図れるような体制づくりを進めていただきたい。
山本(充)委員	資料 6 の 19 ページを見ると世帯数が平成 17 年から横ばいになっている。高齢層が一定数亡くなって減少していると考えれば、世帯数に関しては一定数の流入があると推察できる。どういった世帯が流入しているかを分析できれば人口減少に歯止めをかけるための対策が考えられると思った。

鈴木(桃)委員	<p>田原市では中高生や専門学校生等の若い子が経験できることが少ないという印象がある。高校生や車の免許を持っていない専門学校生、大学生が自分の足では街まで行けない状況があるように思う。特に伊良湖岬には親の車に乗らないと行けない。一応バスはあるが本数が少ない。そういうことで若い子の行動範囲が広がらない状態が続いていると昔から思っている。改善するのは難しいと思うが、人脈が広がっていく年頃なのに田原市にとどまっているのがもったいない感じもするし、それが嫁不足にもつながる。例えばずっと田原市で暮らしていて適齢期になり、話し方や女性への接し方を知らずにいきなり婚活パーティーに参加している方を結構見てきた。やはり若いうちから外の世界とつながっているいろいろな人と対面で話す経験をたくさん積むことが大切なので、そういった点についても議論できればと思う。</p>
戸田会長	<p>多様な意見をいただいた。皆さんの田原における生活に希望が見えることが市全体の希望にもなると思う。事務局から何かあるか。</p>
事務局 (部長)	<p>人口の問題、担い手の問題、遊休農地、結婚、公共交通等についていろいろなご意見をいただいた。すべて大事な視点だと考えており、現行計画でも同じように課題として位置付けている。</p> <p>人口については構造的な問題というお話もあったが、出産適齢期の女性の数が非常に減っており、単純計算すると最低でも1人につき3人子どもを産んでいただかないと人口が増えない状況になっている。結婚しない方も増えてきているが、そういった方に結婚・出産・育児をしていただける環境をどうつくっていくかを今後しっかりと議論していければと思う。こちらからもいろいろな問題を投げかけさせていただきたいと思うので、よろしく願います。</p>
戸田会長	<p>これは「田原市総合計画」ということで、市役所だけの計画ではない。やがて指標も出てくるが、その際には皆様方の指標というのも出していただき、市の総合的な戦略として進んでいくことが大事だと思う。これから審議が続いていくが、ご協力いただければ有り難い。</p>

4 その他

戸田会長	<p>その他について、事務局から何かあるか。</p>
事務局 (部長)	<p>次回の審議会は令和5年3月24日(金)午後3時から本日より同じ場所で開催予定。資料等については、できるだけ事前にお送りする。</p>
戸田会長	<p>以上をもって第1回田原市総合計画審議会を終了する。ご協力に感謝申し上げます。</p>

以上